

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、26年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立ひびきコスモス運動場等4スポーツ施設

所在地：別添資料のとおり

施設内容：①施設概要 別添資料のとおり

②事業内容 スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。

(2) 指定期間

平成27年4月1日～平成32年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：株式会社スピナ

所在地：北九州市八幡東区平野二丁目11-1

主な業務内容：貸ビル業、宅地建物取引業、設備保全業、施設保守点検業、太陽光発電設備工事業、建装工事業、総合ビル管理業、防疫業、タクシー・貸切バス・構内バス業、印刷業、造園・土木工事業、緑化環境業、堅パン・羊羹製造販売業、ゴルフガーデン

2 指定の経緯

平成26年8月13日～8月22日 募集要項配布

平成26年10月10日 募集締め切り

平成26年10月29日 指定管理者検討会の開催

平成26年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

ア 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)

イ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。

- ウ 募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)
- エ スポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興に関するノウハウや能力を有すること。

(2) 応募状況

説明会参加：20団体

応募件数：1団体

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・ [市民代表] 奥永智絵 (西日本リビング新聞社リビング北九州編集グループ 副主事 編集長)
- ・ [財務専門家] 寺崎政勝 (寺崎政勝税理士事務所 所長)
- ・ [学識経験者] 南博 (公立大学法人北九州市立大学都市政策研究所准教授)
- ・ [スポーツクラブ経営・育成] 内田満 (NPO法人スポーツウェイヴ 理事長)
- ・ [企業経営有識者] 河邊政恵 (株式会社リバー不動産 代表取締役社長)

5 選定基準(例)等

選定基準(=審査項目)及びポイント	
1 指定管理者としての適性	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営(指定管理業務)に対する理念や基本方針を持っているか。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	① 長期間安定的な管理運営(指定管理業務)を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3) 実績や経験など	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 ② 応募団体が施設の管理運営(指定管理業務)に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。 ③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2 管理運営計画の適確性	
	【有効性】

<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。</p> <p>② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。</p> <p>③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。</p> <p>④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。</p>
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。</p> <p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。</p> <p>③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。</p> <p>④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。</p> <p>⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。</p>
<p>【効率性】</p> <p>(3) 指定管理料及び収入</p> <p>① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。</p> <p>② 収入が最大限確保される提案であるか。</p> <p>③ 完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。</p> <p>② 経費の配分は適切であるか。</p> <p>③ 積算根拠は明確であるか。</p> <p>④ 再委託が適切な水準で行われているか。</p>
<p>【適正性】</p> <p>(5) 管理運営体制など</p> <p>① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。</p> <p>② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。</p> <p>③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。</p> <p>④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。</p> <p>⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。</p> <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が十分に考えられているか。</p> <p>② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。</p> <p>③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。</p> <p>④ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。</p> <p>⑤ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。</p>

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D	E			
株式会社 スピナ	1 指定管理者としての適性									
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	5	4	4	4.2	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	5	5	5	3	4.4	4	4
	(3) 実績や経験など	5	5	4	5	5	4	4.6	5	5
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	4	5	4	4	4.2	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	4	4	4	4	3.8	4	8
	【効率性】									
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	3	4	4	4	3.6	4	12
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	4	3	4	4	4	3.8	4	8
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	4	5	4	4	4.2	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	4	5	4	4	4.2	4	8
合計	100	76	76	93	82	79	—		81	
地元団体に対する優遇措置（3点）									84	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

- ・指定管理者としての適性については、積極的に人の登用を考えており、真摯な姿勢や積極性が高く評価でき、熱意もしっかり感じられた。

- ・提案の有効性については、地域課題・施設の特徴を踏まえた効果的な提案になっている。また、企画が面白く、足育など、他には見られない教室で関心を引く工夫が上手い。
- ・収支の効率性については、コスト削減への努力が認められ、収支計画の妥当性及び実現可能性は高いと考えられる。
- ・運営体制などの適正性については、地域の方との信頼関係を築いている点は評価できる。

(3) 検討会における検討結果

地に足がついた提案であると感じた。地域の方々と信頼関係を築く努力及び苦情対応の姿勢・スピードは高く評価できる。また、地域を意識した企画や取り組みなどの努力や積極性も感じられ、北九州市立ひびきコスモス等4スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考えられる。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、株式会社スピナを指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・施設の設置目的をよく理解し、指定管理業務を行うにあたり十分な財政基盤・人的基盤を有しており、安定した管理運営が期待できる。
- ・スポーツ振興や利用者の満足度の向上に資する取り組みがしっかり提案され、他の指定管理グループの施設との連携や、サマースクールの開校、桃園庭球場と若松庭球場の利用者間の交流会を企画するなど、従来にない視点での新たな取り組みが盛り込まれている。
- ・収支計画についても、市の要求水準を満たしている。
- ・管理運営体制もしっかりしており、安全・危機管理体制も万全である。また、地域の大学との連携した事業実施など地域資源を活かした事業展開が十分見込まれる。

8 提案額

25,831千円（平成27年度～平成31年度までの各年度）

施設概要一覧

公募グループ	No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	建築年月日	供用開始年月日	構造	建築物等の概要等	駐車場台数	供用時間	休業日
北九州市立ひびき コスモス運動場等 4スポーツ施設	1	ひびきコスモス運動場	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	若松区向洋町15-1	平成22年7月24日	平成22年7月24日	S造	競技場 58,480㎡ 管理棟(事務室、関係者控室、更衣室、シャワー室) トイレ3箇所	250台	6:00~21:00	年末年始(12月29日~翌年1月3日)
	2	若松球技場	北九州市スポーツ施設条例	若松区響南町5	昭和51年4月1日	昭和51年4月1日		競技場12,283㎡ 更衣室、観覧席・シャワー室 夜間照明	76台	6:00~21:00	年末年始(12月29日~翌年1月3日)
	3	若松球場	北九州市スポーツ施設条例	若松区響南町5	平成23年4月24日	平成23年4月24日	S造	競技場 18,000㎡ 収容人員 500人 夜間照明 ベンチ・スタンド ・LED式スコアボード	若松球技場 と共用	(4~10月) 6:00~21:00 (11~3月) 6:00~18:00	年末年始(12月29日~翌年1月3日)
	4	若松庭球場	北九州市スポーツ施設条例	若松区響南町5	昭和46年12月16日	昭和46年12月16日	S造 平屋建	競技場 2,898㎡(砂入り人工芝4面)、 夜間照明 更衣室・シャワー室(若松球技場と共用)	若松球技場 と共用	(4~11月) 7:00~21:00 (12~3月) 7:00~18:00	年末年始(12月29日~翌年1月3日)

北九州市立ひびきコスモス運動場等4スポーツ施設指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社スピナ
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>○理念：『地域貢献』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSV（共通価値の創造）経営 → 事業活動を通じて、地域社会問題解決に貢献する。 ・指定管理施設管理運営は、当社の事業を通じた『地域貢献活動の一環』である。 当社は創業以来、北九州市及び市民の皆様に育てていただいた企業である → 恩返し ・“超高齢社会問題”“介護・医療費問題”等を、スポーツ振興を通じて解決していく。 <p>○基本方針：市民の皆様の健康増進を図るため、“快適な運動環境”を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①スポーツ振興の拠点づくりの推進 ②市民が気軽に、元気でスポーツ文化を楽しめる環境づくり ③利用者の立場に立った安全な施設運営とサービスの質を維持・向上する ④将来を見据えた提案型の管理運営の実践 <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>○人的基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピナ総従業員数：730名 ・あらゆる突発事案に対応する『臨時案件対応班』の活躍 ・経験豊富な北九州市指定管理3施設職員（39名）をプール運用 ・スピナ：建築物管理のプロフェッショナル → 自社施工による素早い対応・安全の確保 ・北スポ連：スポーツ振興のプロフェッショナル → 安定したスポーツ指導者の確保 <p>○財産基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期に渡る不況の中、32年間に渡り安定した黒字経営を継続 ・総合施設管理、不動産、環境、物品販売、緑化 他、様々な事業を展開 → いずれの事業においても、北九州市内トップクラスの事業規模 <p>(3) 実績や経験など</p> <p>○豊富な“指定管理施設管理運営”“スポーツ振興事業”実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『第一期 北九州市立 ひびきコスモス運動場指定管理者』 ・『第一期・第二期 北九州市立 桃園球場等6スポーツ施設指定管理者』 ・『第一期・第二期 北九州市立 的場池球場等3スポーツ施設指定管理者』 ・多種多様な自主事業開催実績 技能別：初・中・上級 / 年齢別：キッズ・ジュニア・シニア / 目的別：腰痛改善・幼児とのスキンシップ・プロポーション 等 【目的別にカテゴリー分け ⇒ 参加しやすいスポーツ事業】

	<p>○豊富に保有する専門知識や資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物管理：建築物環境衛生管理技術者／危険物取扱者／消防点検資格者／清掃作業監督者 / 一級・二級ボイラー技士／第一種・第二種電気工事士 / 他多数 ・スポーツ振興：健康運動指導士／障害者上級スポーツ指導員／保健体育教諭（文科省）／テニス教師／水上安全法指導員／シナプスロジー指導員／他多数 <p>○当運営団体の責任分担：施設管理運営の全責任はスピナにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北スポ連はスポーツ振興についてスピナに助言を行う“協力運営団体”である。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p> <p style="text-align: center;">【有効性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <p>○目標利用者数：H27・131,130人／H28・133,800人／H29・136,760人 ／H30・139,459人／H31・142,498人</p> <p>○北九州市の意向や現状を把握、理解した上での、事業計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気発進！北九州／北九州市スポーツ振興計画／元気発進！子どもプラン／第三次北九州市高齢者支援計画 他 ・施設の特徴、地域特徴をあらゆる方向から分析 <p>○施設の管理運営方針（事業計画）について 第二期：『ひびきコスモス運動場等4施設が持つポテンシャルを十分に発揮させ、北九州市全体を視野に入れたスポーツ振興を図ると同時に、地域住民の方々一人ひとりの健康増進にも注力していく。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市全体に向けたスポーツ振興事業の開催 ～施設のポテンシャルを活かしたチームスポーツ大会開催～ 既に定例大会となった「スピナ杯サッカー大会」／多世代交流を目的とした「グランドゴルフ大会」／市民の皆様にはスポーツ選択の機会を提供する「各種マイナースポーツ大会」 / 他 ・全国規模、国際規模の大会誘致のバックアップ ～北九州市民の方々に、一流スポーツ選手を“見て・感じる”機会の提供～ 行政やコンベンション協会が、自信をもって誘致できる「良好な施設環境の創造」 / 他 ・地域住民の方々に向けた“個人向け健康増進教室の開催 ～豊富なノウハウを活かした、施設会議室や球技場で行う個人向け健康増進機会の提供～ 桃園施設、的場池施設で開催した事業実績を活かした「年長者向け健康増進事業」「主婦層向け健康増進事業」他／様々な事業を展開することによる「継続的運動実施者の創出」 / 他施設スポーツ愛好者と交流し、新しい仲間をつくる「他施設交流会の開催」 / 他 ・その他のスポーツ振興事業 スポーツを始めるきっかけを提供する「サマースクール」 / 子どもたちを健全育成に導くための「プロ選手によるスポーツ教室」他 / 若松球場駐車場狭小問題を解決する「スピナ所有バスの活用」 / 更なる運動環境改善のための「球場・運動場の年間予約一元管理」 / さらに充実したスポーツ環境を創造するための「他指定管理者との合同事業」他

	<p>【有効性】に関する取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業、利便性向上施策 <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの方に気づきを与える「メンタルヘルス講座」／誰でも立ち寄り、コミュニケーションを図ることができる「コミュニティスペースの設置」／スピナ建築物管理ノウハウを活かした「バリアフリー施設提案」／当社緑化技術を駆使した「若松球技場の芝生化」／ 他 ○当社の特徴を活かした様々な有機的連携。 <ul style="list-style-type: none"> ・人員配置連携「施設職員プール運用」／施設整備技術連携「施設間交流会開催」／施設運用連携「球場・運動場一元管理」／資機材連携「資機材一括管理」 ・西鉄グループ指定管理者との連携 ・長年にわたる指定管理施設運営実績により培われた、各指定管理者との連携 ○当社ならではの、“グループ会社を活用した施設広報”の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット／チャチャタウン／ラブエフエム国際放送／路線バス 等の活用 <p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北九州市、施設利用者、地域住民の皆様が“必要なもの”“望んでいるもの”を把握・理解 <ul style="list-style-type: none"> ・行政施策、施設特性、地域特性の把握 ⇒ 行政指針に沿った事業展開 ・利用者アンケートによるご要望把握 ⇒ 利便性向上施策 ○CS（顧客満足）活動の推進と実行 <ul style="list-style-type: none"> ・当社接客指導員による施設巡回と職員に対する指導の徹底。 ・当社社員20名による“グラウンド小石除去による、良好なコンディション維持活動” ・自社施工による早急な不具合箇所修繕 → お客様の安全性確保と北九州市様の経費削減 ○お客様のご意見を把握する仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱／ホームページ／利用者モニター制度／連絡協議会開催 等 ○お客様のご意見を反映する仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・全指定管理施設職員への報告／お客様から頂いたご意見全てに回答(安心の提供) ○苦情対策 <ul style="list-style-type: none"> ・全社クレーム報告会→原因の解明→従業員対応の問題点→再発防止策→実行・施工・顧客対応 ○利用者への情報提供：施設利用・安全・交通・健康 他 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや新聞折り込みチラシなどによる、施設開放・イベント情報の提供 ・モニター画面やライブラリ設置による、スポーツ情報や知識の提供 ・熱中症指数モニターを活用した、熱中症危険度情報の提供／雷探知機を活用した、雷情報の提供 ・市政の取り組み情報の発信 ○サービスの質を維持・向上するための施策 <ul style="list-style-type: none"> ・スピナ互換パトロールによる「第三者的視点」でのチェック体制 ・“豊富な経験”“専門知識”を持っている当社社員を施設に配置することによる安全の確保 ・“多角的経営”“自社施工”という特徴を活かした、あらゆる状況への俊敏な対応（安全の確保）
--	----------------------------	--

	<p>【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <p>○自社の特徴を活かした“安全を確保した上でのコスト削減”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「臨時案件対応部隊」の活用による、“時間毎での職員適正配置” 【高い安全性確保】【質の高いサービスの提供】と【コスト削減】の両立 ・施設職員をプール運用することによる、指定管理施設全体の人件費削減 → 高い安全性確保 ・自社施工による委託費・中間管理費の削減 ・省エネ機器知識、ノウハウを活用したエネルギー削減 ・施設職員が率先して行う「職場改善活動」によるコスト削減 ・河川水を利用することによる水道料金削減実践（約 240 万円削減！） ・消耗品一括大量購入による費用削減 <p>○施設利用者を増加させることによる、施設利用収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各球場一元管理：無駄な利用予約を排除し、効率的な施設利用を実現 ・多種多様な自主事業開催し、スポーツ愛好者を増加 安価な参加費の事業開催／ホークスジュニアアカデミー・ギラヴァンツとの協働事業開催／自治体・教育団体・スポーツ団体との協働事業開催 <p>【指定管理料提案額】</p> <p>平成 27 年度 25,831 千円 平成 28 年度 25,831 千円 平成 29 年度 25,831 千円 平成 30 年度 25,831 千円 平成 31 年度 25,831 千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>○収入は「指定管理料」である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社自主事業は【収入＝支出】／理由：多くの方の健康増進を図るため、安い参加費設定！ ・自主事業に利益が出た場合、施設利用者に還元する <p>○支出は「スピナ特徴を活かした、徹底したコスト削減」</p> <p>○積算根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの運営実績に基づいた積算額（予想金額ではない！） ・利用者への『安全』と『サービス』を確保できる、必要最低限の金額（実績金額） <p>○再委託について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社の特徴を活かした“自社施工”による運営が基本 ・特殊作業についてのみ委託とする → 相見積もり・自社社員の立ち合いを原則とする。
--	--------------------------------------	---

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(5) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スピナ・北スポ連の特徴：豊富な専門的知識・経験を持つ人員を保有 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設に「施設管理運営のプロ」「スポーツ振興のプロ」を配置／ハイレベルな運営が可能 ◎資格、経験について <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興：健康運動指導士／障害者上級スポーツ指導員／保健体育教諭／水泳A級競技役員／体カテスト認定員／テニススポーツ指導者／他、多数の専門的資格 ・環境管理：建築物環境衛生管理技術者／ビルクリーニング技能士／一級・二級ボイラー技士／防火管理者／空気環境測定実施者／特定化学物質作業主任者／他、多数の専門的資格 ○当運営組織の“各種教育指導員”による巡回指導 <ul style="list-style-type: none"> ・接客サービス教育指導員／各スポーツ指導員／環境管理指導員／安全指導員 他 ○地元企業の太いパイプを活用した、地域住民や関係団体等との連携や協働による事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市内の大学／近隣小中高等学校／市民センター 等との連携事業展開 ・大学と連携し、子どもたちに“多種多様なスポーツを体験する場”を創出 ・近隣の総合型地域スポーツクラブ3団体と連携、合同スポーツ事業の展開 <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「コンプライアンスマニュアル」「個人情報ハンドブック」を活用した教育 <ul style="list-style-type: none"> ・“役員からアルバイト”まで、徹底した教育を実施 ○利用者の平等利用確保 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者上級スポーツ指導員による、「障害のある人に対する適切な配慮研修」実施 ・管理者の一方的な考えだけで施設運営が行われないよう、「利用者モニター制度」導入 ○利用者・職員の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・当社は「安全第一主義」であり、常日頃からの安全教育徹底 ・当社「安全パトロール対象施設」として登録。定期的な職場互換パトロール実施。 ○防犯、防災対策 <ul style="list-style-type: none"> ・当社は「警備業」も生業としている <ul style="list-style-type: none"> → 施設職員には警備業務教育と同等の教育を実施 ・地域や施設利用者の安全確保の為、施設内・外の定時パトロールを実施 ・区役所・自治会・消防署等と合同災害訓練を実施
--	--------------------------------------	---

※各応募団体の年度毎の提案金額も記載すること

北九州市立ひびきコスモス等4スポーツ施設指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成26年10月29日(水) 12:05~13:05
- 2 場 所 北九州市役所 5階 特別会議室A
- 3 出席者 (検討会構成員) 内田構成員(座長)、奥永構成員、河邊構成員、寺崎構成員、南構成員
(事務局) 市民文化スポーツ局スポーツ振興課スポーツ施設担当課長、施設管理係長、担当職員

4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 座長は引き続き内田構成員とする。
- 選定基準、採点の注意事項、プレゼンにおける注意点について、事務局より説明

- 応募団体(株式会社スピナ)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 芝生の施工を社内でボランティアを募集してやるとなっているが、強制的にボランティアをさせるのではないか。

(応募団体) そのようなことはない。スピナは指定管理の運営委員会をいろんな部署から集めて構成している。スポーツ施設の指定管理について理解が深い。今回、この提案をするにあたり、若松球技場の芝生化をするといったときに、是非やっていこうとの運営委員会の判断があり、私たちがボランティアとして出ますよという声があってこそその提案である。

(構成員) 上司から言われて、無理やりではないか。

(応募団体) 個人のプライベートの時間、仕事の時間をきっちり分けて考える社風であるため、問題ない。

(構成員) その他スポーツ振興の取組の中に、サマースクールがあるが、冬や他の休みの時期の事業はどのように考えているか。

(応募団体) まず一つは、「子どもたちの夏休みの間」というのを企画するのがサマースクールである。春休み、冬休みも企画している。具体的には、サッカー、アーチェリー、弓道、水泳、バレーボール、ソフトボールや、会議室を使ったレクリエーションを考えている。

(構成員) 冬の間の方が施設の利用が少ないが。

(応募団体) 会議室を活用したレクリエーションを考えている。サマースクール

もそうだが、今回、メインは子どもなので、子ども向けのレクリエーションを会議室で行うことを考えている。

スポーツが得意でない子どもたちに、遊びを通じて体を動かしてもらい、それを通じて、その後になげてもらいたいと考えている。募集については、ひびきコスモス運動場を使うだけではなく、色々な施設を使いたいと考えている。

(構成員) 砂埃対策に水をまくというのは、地道なものであると思うが、場所的に海が近いので、川から水を取ると、海水がまじってしまうのではないか。

(応募団体) 非常にいい効果をもたらしており、海水がまじると、塩化カリウムを撒くのと同じく、雑草が生えにくいという効果がある。4年間の管理の中で、塩化カリウムの購入はゼロである。

(構成員) 管理運営の面で、対応の遅さによるクレームはないとあるが、新しく新設した運動場におけるトラブルや解決した実績などはあったか。

(応募団体) 砂埃のトラブルが予想以上に多い。散水で土ぼこりがゼロにはならないので、担当者が地域住民の方とコミュニケーションを取り、信頼関係を作ることにより、多少の砂埃であれば大目に見てくれるようになった。地域住民の方とのパトロールもそうだが、地域住民との連携を深めることによって、トラブルを未然に防いでいる。

建築物の配線関係など、使いにくいということがあれば、スピナの保全部隊が出動し、応急処置する。

地域の方からのクレームがあれば、即、お宅を訪問し、説明をさせていただいている。

(構成員) 若松球場の芝生化の件だが、芝の維持管理は施設職員でやる一方で、運営委員会が全般的な運営を取り仕切るとのことだが、どのような形で想定しているか。

(応募団体) 運営委員会が、今現在の運営をすぐに変えるとトラブルになるので、まず、スピナが要求するもの、運営委員会が要求するものとすり合わせを行い、徐々に運営の枠を広げるような形で、運営委員会と良好な関係を築き、施設をより良くしていきたい。

芝刈に関しては、数年先については、運営委員会にやっていただきたい、ただし、もし運営委員会とトラブルになるようであれば自社で行うし、理解を得られ、やってもらえるのであれば芝刈り機を貸して一緒に行く体制が現実的であると考えている。

(構成員) 支出のところ、芝生の話は名目としては現れていないが、支出に含まれていて、かつ、運営委員会への委託費とは別の部分で芝生の管理を考えているのか。

(応募団体) そのように考えている。

(構成員) 自主事業収入が記載されているが、非常に上昇率が高い。これは自信を持って提案されているか。

(応募団体) 我々はスポーツ振興のプロフェッショナルであるということと、今までの経験上、特に、大規模大会などの自主事業などを開催すれば、

収入も上がってくる。特に、ひびきコスモス運動場は大規模施設であるので、より大きな大会が開催できるということで、今までの経験を踏まえ、現実味のある数字であると考えている。

(構成員) 運営委員会に委託するとあるが、金銭的な積算のルールづくりはあるか。

(応募団体) 募集要項に、市から定められた金額がありそれを記載している。

(構成員) 過去の実績をみると、指定管理が始まってから8年になるが、施設数が増えていくということは、それなりにスピナも人材を配置する必要がある。また、今回指定された場合は、管理施設数が増え、事業も増えることとなる。人材を8年という短い期間の中でどのように育成してきたか。また、北スポ連も、指導者の育成をどうやってきたかを教えて欲しい。

(応募団体) まず、スピナは、第一期目はビルサービス課として、課の運営として行ってきた。施設数が増えたため、指定管理グループというものができた。今回、桃園、ひびきが指定されれば、さらに大きな部門になると考えている。人材確保については、組織を会社内に作ることで確保している。

教育については、アルバイトから入社し、社員登用するといったように、若い頃から経験を積ませるというのも一つの方法であると考えられる。アルバイトとして実務を経験させ、さらに、運営委員会の意見を 取り入れながら成長してもらおう。

スポーツ振興については、NPO法人から人材を派遣していただき、社内で講義を行っていただく。先を見越した人材育成を行っている。

(応募団体) 我々がNPO法人になった時は80名近くであった。我々の指導業務を行っている事業所が増え、現在は118名の会員がおり、規模が大きくなっている。質が落ちるといった問題については、指導員を育てられる資格をもった者が多数在籍しており、内部で研修を積んでいる。

外部の団体（スポーツ団体、医療関係者等）との交流が活発であるため、そういう団体との連携の中でさらに勉強を積み重ねている。

(構成員) 取れるという前提で全て話しているが、取れなかった場合、既存の人材に対してはどのような対応をするのか。

(応募団体) 現場の職員については、優秀な人材が育っているなので、現在、指定管理をしている施設に配置したり、アルバイトについては、スピナは多業種展開をしているので、人が足りないところに配置をするなどし、アルバイトの方の職を確保すべく最善の努力を行う。ひびきコスモスのグラウンドキーパーについては、的場池、大谷球場で活用していきたい。組織体については、指定管理グループを維持していきたい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

- (構成員) 管理運営の適格性などは、高評価だがまだ努力する余地はある。
- (構成員) 全体的に、真摯な姿勢で指定管理業務に向き合う意欲が強く感じられ、なおかつ積極的に若松球技場の芝化に取り組むところが高く評価できる。地域課題、施設の特色を踏まえた効果的な提案になっている。
- (構成員) 担当者が指定管理施設の隅々まで知っていることが何われ、提案内容の実現が期待できた。地に足の付いた提案内容であった。桃園との違いは、大規模スポーツ施設であることだが、スポーツイベントの企画をしようという所であるが、北スポ連の話を聞くと、運動教室は北スポ連でできると思うが、スポーツイベントの企画という部分で、多少未知数の部分があった。
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- (構成員) 積極的に人の登用を絶えず考えている。話の内容から、熱意もしっかり感じられた。
- (構成員) 人材育成については、人を財産のように考え、企業全体で守ってこうという姿勢は評価できる。
- (全構成員) 検討会の評価レベルは、指定管理者としての適正の管理運営の理念、人的・財政基盤の項目について4、実績・経験の項目について5が妥当であると考えている。
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定。
- (構成員) 運営委員会の方と非常に近い関係であるが、スピナが与えるスポーツを受ける関係性から、市民が自らスポーツを作っていくことをスピナが手助けする関係になれば、さらに高い評価となる。
- (構成員) 地域を意識した取り組みだと感じた。企画が面白く、足育など、他には見られない教室で関心を引く。告知の仕方一つで関心は変わってくると思うが、つかみ方が上手いと感じた。
- (全構成員) 検討会の評価レベルは、有効性の設置目的の達成、利用者満足向上の項目について4が妥当であると考えている。
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- (構成員) コスト削減への努力が認められる。
- (構成員) 収支計画の妥当性及び実現可能性は高いと考えられる。
- (全構成員) 検討会の評価レベルは、効率性の指定管理料及び収入、収支計画の妥当性及び実現可能性の項目について4が妥当であると考えている。
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(検討員) 地域の方との信頼関係を築いている点は評価できる。

(検討員) 十分な体制の構築が期待できる。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、適正性の管理運営体制、平等利用等の項目について4が妥当であると考えている。

○ 検討会としての検討結果（総合的な所見）について

地に足がついた提案であると感じた。地域の方々と信頼関係を築く努力及び苦情対応の姿勢・スピードは高く評価できる。また、地域を意識した企画や取り組みなどの努力や積極性も感じられ、北九州市立ひびきコスモス等4スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考えている。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。